

## 全国大学書道学会

## 会報

15

平成28年(2016)  
2月15日発行  
全国大学書道学会

## 全国大学書道学会 平成二十七年(横浜)大会を終えて

横浜国立大学 青山 浩之

平成二十七年十月十日(土)、横浜国立大学教育人間科学部を会場に、全国大学書道学会が開催されました。大会参加者は、八十五名(会員六十三名、準会員二十二名)。総会開催後、午前中は二会場に分かれ六件の研究発表、午後は一会場で四件の研究発表が行われました。斯学に寄与する有意義な発表に、充実した討議が交わされました。

研究発表に引き続き、新しい志向の企画として「初期の学会活動に関わる公開座談会」が催されました。これまで当学会を牽引してこられた浦野俊則先生、野中浩俊先生、平形精一先生がご登壇され、東賢司先生の司会により、学会創生期のエピソードや、その後の発展などについて大変興味深いお話しを伺うことができました。学会の歴史を紐解く貴重な機会となったこともあり、会員諸氏の多くが熱心に聞き入っていたのが印象的でした。私事ながら、本学会に奉職したての六年間、当学会の事務局を仰せつかった経緯もあり、この横浜大会で有意義な企画を開催していただいたことを大変光栄に思います。十月九日(金)～十一日(日)の書道三学会会期中、学内において「全国大学書道学会会員書作展」を併催しました。五十点に及ぶ多くのご出品、また大会には多数の皆様にご来駕いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

## 『第五七回大会を終えて』

理事長 横田 恭三

十月四日～六日の三日間、日本を代表する国際港湾都市、横浜の地で三学会大会が開催されました。会場校となった横浜国立大学の青山浩之先生をはじめ、関係各位には大変お世話になりました。

第二日目、総会のあと、二会場に分かれて六名の発表、午後は会場一つにして四名の発表が行われました。中国関係の研究が三件、日本関係が七件、とりわけ後者はすべて明治期以降の書を扱った発表という珍しい現象となりました。

研究発表とともに、大会二つ目のメインである講演会については、今回、学会創生期の姿を探るための座談会という形式に換えて行われました。これは司会を東賢司先生に、パネラーとして浦野俊則先生・野中浩俊先生・平形精一先生の三氏に登壇していただき、初期の学会活動についてそれぞれエピソードを交えながら語っていただきました。これによって当時の活動内容やその苦労談などいろいろ有意義な話を拝聴することができました。なお、これまで不明であった大会の開催回数が、今年で五七回目(二回の臨時大会を除く)であることが判明しました。

会員書作展は、一昨年の群馬大会に続く折帖仕立ての展示で、第一会場前に五〇点並べられました。会報の後半にその全作品をカラーで掲載しました。このほか、計画・実行してきた事業の中に、①本年五月よりHPを稼働②テキスト『書の古典と理論』に続く、新たな出版事業の検討③新たな会員獲得に向けて、大学の専任および非常勤講師の方々への入会案内送付、などが挙げられます。今日、大学を取り巻く環境は年々変化しています。とりわけ文科省が、教育系・人文社会学系において縮小や組織再編を求めるといふ厳しい現実があります。少子化の問題も絡んで、本学会がどのようなスタンスで対応するか、大いに議論していくべき課題だと感じています。

さらなる学会発展のために、会員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

## 全国大学書道学会 平成27年度(横浜)大会 次第

期 日 平成27年10月10日(土)  
 会 場 横浜国立大学教育人間科学部7号館201教室・202教室／6号館101教室  
 開催大学 横浜国立大学

●9:00 受付(参加費 会員4,000円 準会員〈大学院生〉2,000円)

●9:20～10:20 平成27年度総会／開会式(7号館201教室)

1. 開会のことば	永由 徳夫(群馬大学)
2. 開催大学あいさつ	横浜国立大学 青山 浩之 先生
3. 会長あいさつ	平形 精一(常葉大学)
4. 理事長あいさつ	横田 恭三(跡見学園女子大学)
5. 議事 議長	森上 洋光(四国大学)
1) 平成26年度事業報告→【資料1】	承認 石井 健(東京学芸大学)
2) 平成26年度決算報告→【資料2】	承認 柿木原くみ(相模女子大学)
3) 平成26年度監査報告	*議長代読
4) 平成27年度事業計画(案)→【資料3】	承認 石井 健(東京学芸大学)
5) 平成27年度予算(案)→【資料4】	承認 柿木原くみ(相模女子大学)
6) 役員改選(案)について→【資料5】	承認 横田 恭三(跡見学園女子大学)
7) その他	
6. 報告事項	
1) ホームページ開設について	鈴木 晴彦(日本大学)
2) 新規刊行物について	鈴木 晴彦(日本大学)
3) 次年度開催大学について	事務局
岩手大学を開催大学として、盛岡市での開催を予定	
4) 新入会員紹介→【資料6】	事務局
5) その他	
学会誌『大学書道研究』における「研究ノート」の採用について	
7. 閉会のことば	小川 博章(淑徳大学)

●10:30～12:10 研究発表 午前の部

第1会場(7号館201教室) 司 会:小川博章(淑徳大学)

10:30～11:00 隋代に見られる隸書墓誌銘について 愛媛大学教授 東 賢司  
 11:05～11:35 黄易の隸書書法の考察 大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻博士後期課程3年 渡邊 亮太  
 11:40～12:10 再考米芾書法～意の書として～ 徳島県立文学書道館事業課主事(書道担当) 立石 充

第2会場(7号館202教室) 司 会:神野雄二(熊本大学)

10:30～11:00 子規の漢詩及び書画作品にみられる傾向 群馬大学大学院教育学研究科国語教育専攻修士課程2年 田中 優花  
 11:05～11:35 河東碧梧桐の書道理論の限界性について 京都府立東舞鶴高等学校浮島分校教諭 鳥本 純平  
 11:40～12:10 日高秩父の書業について 一東京学芸大学所蔵日高秩父コレクションを通して一 早稲田大学大学院博士後期課程 徳泉 さち

●13:00～15:10 研究発表 午後の部

第1会場(6号館101教室) 司 会:永由徳夫(群馬大学)

13:00～13:30 明治期における近代的「書」概念の成立過程―「文芸」からの離脱と漢字廃止論をめぐって― 鎌倉女子大学短期大学部専任講師 杉山 勇人  
 13:30～14:00 東宮御学問所における習字教育 東京学芸大学准教授 石井 健

第1会場(6号館101教室) 司 会:鈴木晴彦(日本大学)

14:10～14:40 三輪田米山の書美 一六十歳代作品から検証する制作観と書風形成について― 福岡教育大学准教授 服部 一啓  
 14:40～15:10 明治期以降の立碑の実相について 一日高秩父の石碑制作を中心として― 東京学芸大学准教授 橋本 栄一

●15:20～16:50 「初期の学会活動」に関わる公開座談会(第2回) テーマ:昭和の学会活動について

パネリスト:浦野 俊則先生(植草学園大学学長、千葉大学名誉教授、本学会会員)

野中 浩俊先生(岐阜女子大学教授、新潟大学名誉教授、本学会参与)

平形 精一先生(常葉大学教授、静岡大学名誉教授、本学会会長)

司 会:東 賢司(愛媛大学教授、本学会理事)

●16:50 閉 会

●三学会合同懇親会 日 時 10月10日(土) 18:00～20:00 会 費 6,000円(大学院生は4,000円)

場 所 葉香新館(中華街) 横浜市中区山下町192 045-664-3155

《会員書作展》 ●会 期 10月9日(金)～10月11日(日)

●会 場 横浜国立大学教育人間科学部

《理事会》 ●日 時 10月9日(金) 18:30～20:30

●会 場 崎陽軒本店3階「パーム・ハイビスカス」

《 総会資料 》

**資料1 平成26年度事業報告 → 承認**

(平成26年)	5月16日	学会誌『大学書道研究』第7号、会報、会費払込用紙ほか、発送
	7月3日	平成26年度(埼玉)第1次案内、会員書作展出品要項ほか、発送
	7月18日	平成26年度(埼玉)大会研究発表応募締切日
	7月27日	常任理事会/平成26年度(埼玉)大会、発表者及び発表順、総会議事案ほか、について
	8月8日	平成26年度会員書作展作品送付締切日
	9月17日	平成26年度(埼玉)大会第2次案内ほか発送
	10月1日	学会誌論文投稿申込締切日
	10月10~12日	平成26年度会員書作展(埼玉大学教育学部)
	10月10日	理事会(埼玉大会、役割分担確認、総会議事検討)
	10月11日	平成26年度(埼玉)大会(総会、研究発表、大会記念講演)/三学会合同懇親会
	11月15日	学会誌投稿論文受付締切日
	11月下旬~	学会誌投稿論文査読
	12月23日	常任理事会(査読結果確認及び学会誌の発行について)
(平成27年)	2月~3月	学会誌編集
	3月7日	常任理事会/三学会合同役員会(埼玉大会、平成27年度横浜大会について)

**資料2 平成26年度決算報告 → 承認**

A：収入の部		
1)	平成25年度繰越金	2,812,418 円
2)	平成26年度会費(195口)	1,354,000 円
3)	『書の古典と理論』印税	369,300 円
4)	雑収入	
	預金利子	155 円
	埼玉大会参加費等残金	150,000 円
合 計		4,685,873 円
B：支出の部		
1)	埼玉大会運営補助費	180,000 円
2)	理事会費(会議費：152, 136・交通費：38, 240)	190,376 円
3)	通信費	97,466 円
4)	印刷費(学会誌NO7・250, 560・会報NO12. 1 3・319, 680)	632,880 円
		62,640 円
5)	事務費(消耗品費・会費払込手数料18, 360)	89,860 円
6)	予備費 ホームページ開設経費	139,760 円
合 計		1,330,342 円
(A) 収入	— (B) 支出	= 次年度繰越金
4,685,873 円	— 1,330,342 円	= 3,355,531 円

上記の通り報告いたします。  
以上相違ありません。

平成27年10月10日  
平成27年10月10日

事務局会計担当  
監 査

柿木原くみ ㊟  
大橋 修一 ㊟

**資料3 平成27年度事業計画(案) → 承認**

(平成27年)	6月13日	学会誌、会報、会費払込用紙、平成27年度大会第1次案内、会員書作展出品要項、発送
	7月17日	平成27年度(横浜)大会研究発表応募締切日
	8月2日	常任理事会<平成27年度(横浜)大会、発表者及び発表順、総会議事案、等について>
	8月7日	プロジェクト「初期の学会活動について」の第1回座談会(東京八重洲ホール)
	8月20日	平成27年度会員書作展作品送付締切日
	9月13日	平成27年度(横浜)大会第2次案内、発表要旨集、等発送
	10月1日	学会誌論文投稿申込締切日
	10月9~11日	平成27年度会員書作展(横浜国立大学教育人間科学部)
	10月9日	理事会(横浜大会、役割分担確認、役員改選ほか総会議事検討)
	10月10日	平成27年度(横浜)大会(総会、研究発表、公開座談会)/三学会合同懇親会
	11月15日	学会誌投稿論文受付締切日、学会誌投稿論文査読(下旬~)
	12月下旬	常任理事会(査読結果確認及び学会誌の発行について)
(平成28年)	1月~3月	学会誌編集
	3月中旬	常任理事会/三学会合同役員会(横浜大会、平成28年度大会について)

## 資料4 平成27年度予算(案) → 承認

A：収入の部	
1) 平成26年度繰越金	3,355,531円
2) 平成27年度会費(200名)	1,200,000円
3) 『書の古典と理論』印税	300,000円
4) 雑収入	
預金利子	150円
合 計	4,855,681円
B：支出の部	
1) 横浜大会運営補助費	120,000円
横浜大会謝礼金	40,000円
2) 理事会費(会議費：200,000・交通費200,000)	400,000円
3) 編集委員会費(継続)	200,000円
4) 全国大学書道学会プロジェクト(学会草創期～歴史)	70,000円
5) 印刷費(学会誌NO.8.会報NO.14.15)	700,000円
6) 通信費	150,000円
7) ホームページ維持費	100,000円
8) 事務費(消耗品・会費払込手数料他)	100,000円
9) 予備費	2,975,681円
合 計	4,855,681円

## 資料5 全国大学書道学会 役員 (平成28年4月から平成30年3月まで) (案) → 承認

参 与	加藤達成	吉田 繁	城所 正	前田舜次郎	野中 浩俊
会 長	平形 精一	(常葉大学)			
副 会 長	竹之内裕章(佐賀大学名誉教授)				
理 事 長	横田 恭三(跡見学園女子大学)				
副理事長	* 柿木原くみ(相模女子大学)				
常任理事	鈴木 晴彦	(日本大学)	[学会誌編集担当]		
	小川 博章	(淑徳大学)	[学会誌編集担当]		
	* 角田 勝久	(新潟大学)	[学会誌編集担当]		
	永由 徳夫	(群馬大学)	[事務局・会計担当]		
	石井 健	(東京学芸大学)	[事務局・庶務担当]		

## 理 事 (地区担当) \*各地区原則2名

[北海道]	須田 義樹	(北海道教育大学)
[東 北]	玉澤 友基	(岩手大学)
[北 陸]	* 小林比出代	(信州大学)
[関 東]	森岡 隆	(筑波大学)
	* 萱 のり子	(東京学芸大学)
[東 海]	木村 博昭	(愛知教育大学)
	中根 安治	(岐阜女子大学)
[近 畿]	岡田 直樹	(京都教育大学)
[中 国]	住川 英明	(鳥取大学)
	谷口 邦彦	(安田女子大学)
[四 国]	東 賢司	(愛媛大学)
	森上 洋光	(四国大学)
[九 州]	小原 俊樹	(福岡教育大学)
	神野 雄二	(熊本大学)

## 理事(会務担当) \*若干名

	杉山 勇人	(鎌倉女子大学)
	見城 正訓	(静岡大学)
監 査	大橋 修一	(川口短期大学)
	計良 裕佳	(相模女子大学)

## 資料6 平成26年度(埼玉)大会以後、横浜大会まで新入会員・準会員/退会・退会申出者暫定一覧

《 会 員 》	笠嶋 忠幸	(出光美術館次長)
	岡島 正秀	(岐阜女子大学特任准教授)
	駒瀬 公哉	(関市立関工商高等学校教諭)
	立石 充	(徳島県立文学書道館事業課主事・書道担当)
	瀬筒 寛之	(鹿児島大学講師)
《 準会員 》	新井 智会	(群馬学大学院修士課程/推薦者：永由徳夫)
	今井 裕登	(群馬学大学院修士課程/推薦者：永由徳夫)
	松本 京子	(群馬学大学院修士課程/推薦者：永由徳夫)

## 《 退会・退会申出者 》

赤江貞夫、岡本直人、小口かおり、加藤亜希子、塩野入みどり、中川寿郎、西橋靖雄、日比野貞勝、藤瀬礼子、幕田隆、森常雄、守田晃、吉川美恵子

# 全国大学書道学会プロジェクト

## 「初期の学会活動」進捗状況報告

愛媛大学教育学部 東 賢 司

平成二十六年、埼玉大会において本学会の設立から初期の活動を調査・記録するプロジェクトを推進することが決まりました。これまで資料の収集と整理を進めるとともに、平成二十七年中に二回の座談会を開催し、学会の実態を浮き彫りにすることとしました。座談会の概要は以下の通りです。

### 第一回座談会

日時：平成二十七年八月七日（金）

会場：東京八重洲ホール

第一回目の座談会は、テーマを「昭和四十年から昭和五十年までの学会活動について」とし、浦野俊則氏（元本学会事務局長・常任幹事。元二松学舎



▲ 2015.8.7 第1回座談会風景

大学の活動の概要を確認しました。全国大学書道学会は、日本教育大学協会第二部会書道教育部門会で発議され、昭和三十四年六月十一日に発足しました。最初は会員数が四十名程度の小さな会でしたが、昭和四十七年前後に、事務局が私学の書道担当教員に参加を呼びかけ、会員が百数十名にまで増加しました。また、研究活動を充実させるために『全国大学書道学会研究集録』を作成し、昭和四十年代後半に日本学術会議に団体登録されました。

### 第二回座談会

日時：平成二十七年十月十日（土）

会場：横浜国立大学教育学部六号館一〇一号教室

青山浩之氏（元本学会事務局長。横浜国立大学教授）担当の横浜大会で、第二回目の座談会を開催しました。この会で第一回目の座談会の内容を紹介するとともに、次の三名の方にご登壇頂き「昭和の学会活動」について経験を語って頂きました。

浦野俊則先生（千葉大学名誉教授・植草学園大学学長）  
野中浩俊先生（新潟大学名誉教授・岐阜女子大学教授）  
平形精一先生（静岡大学名誉教授・常葉大学教授）

学会初参加の年は、浦野先生が昭和四十一年東京大会、野中先生と平形先生が昭和四十八年茨城大会です。印象に残った学会活動としては、浦野先生と野中先生が昭和四十八年の茨城大会、五浦の横山大観美術館と六角堂を見学したことを、平形先生が昭和四十年代の小学校書写毛筆必修化に



▲ 2015.10.10 第2回座談会風景

関わる成果と昭和五十年代の書写書道教育学会の設立に関するいきさつについて紹介されました。また、将来の学会像について、浦野先生が「書を理論化し整理する学術的な成果」を、野中先生が「大学の教員として何が大切なのかを考えること」を、平形先生が「研究と実技の両面から書の本質を追究すること」を挙げられました。

現会員のほとんどが知らない時期の状況や変化の様子を知ることができ、大変充実した会になりました。





平成二十七年 度

# 全国大学書道学会会員書作展

会期 平成二十七年十月九日(金)～十一日(日)  
 会場 横浜国立大学教育人間科学部

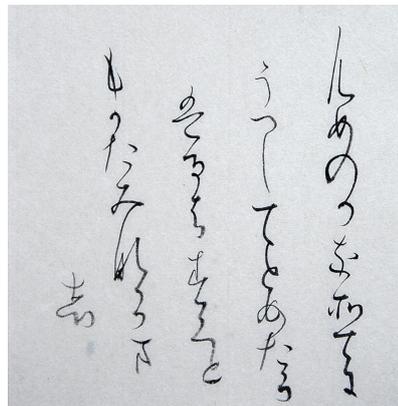
1 明窓 青木雪花(武蔵野大学)



2 蝶 青山浩之(横浜国立大学)



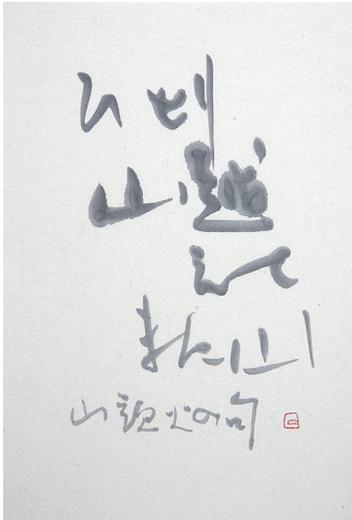
3 臨 寸松庵色紙 五十嵐ももこ(都立荻窪高等学校)



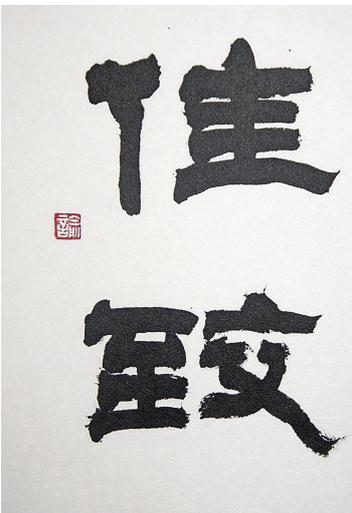
4 胆 井澤秀彦(恵泉女学園大学)

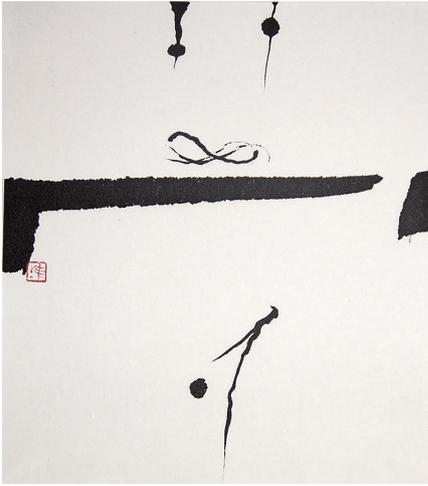


5 山頭火の句 石井健(東京学芸大学)



6 佳致 大住仁堂(兵庫県立出石高等学校)





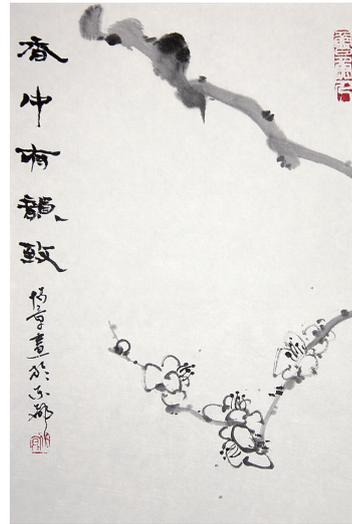
10 夢  
加藤堆繫 (東京学芸大学)



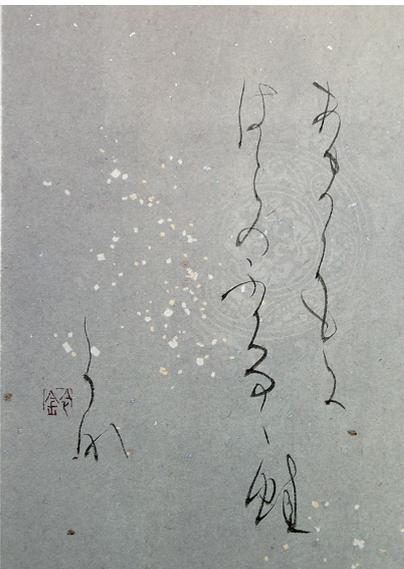
7 澄風  
岡野屋宏一 (桐朋女子中・高等学校)



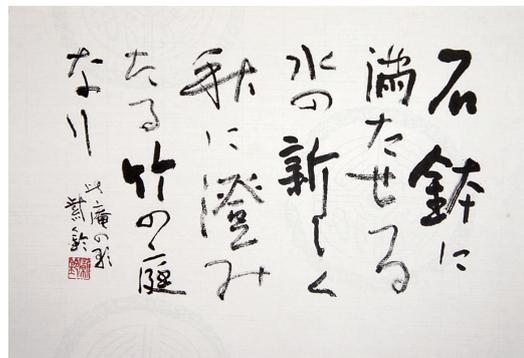
11 水壺  
加藤東陽 (東京学芸大学名誉教授)



8 白梅図  
小川博章 (淑徳大学)

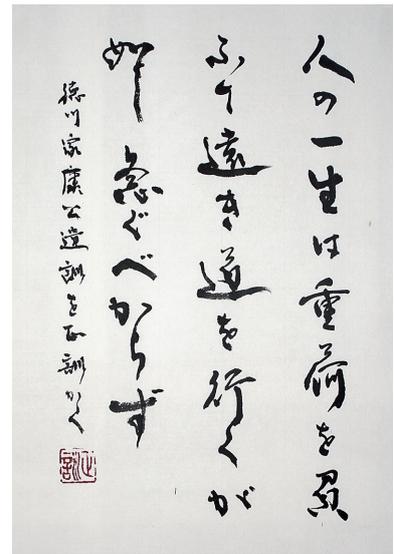


12 千代女の句  
河島由弥 (帝京大学大学院・博士課程)

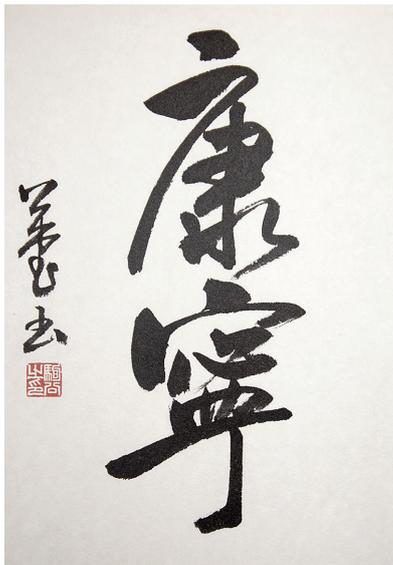


9 清水比庵歌  
柿木原紫鈴 (相模女子大学)

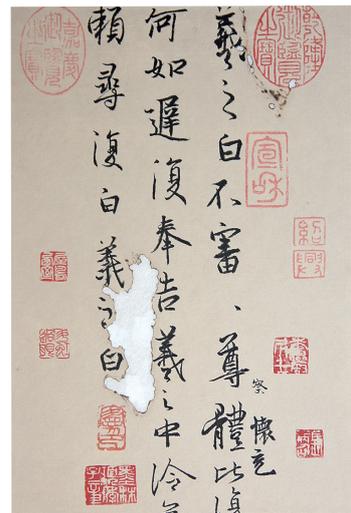
13 徳川家康公遺訓 見城正訓(静岡大学)



16 康寧 駒瀬公堂



14 摹・王羲之何如帖 小西斗虹(香川大学)



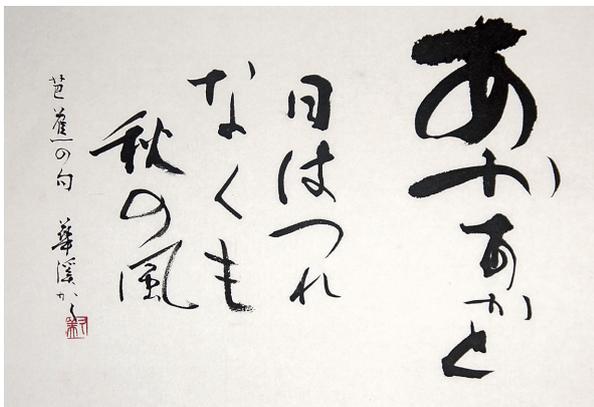
17 觀海者難為水 権田逸盧(大東文化大学書道研究所)



15 愚直 小林比出代(信州大学)

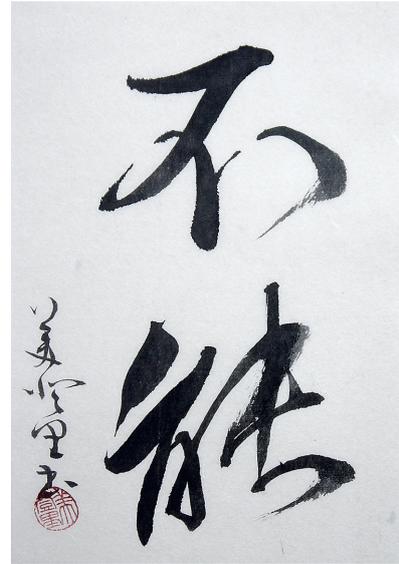


18 芭蕉の句 齋木華溪(茨城大学)





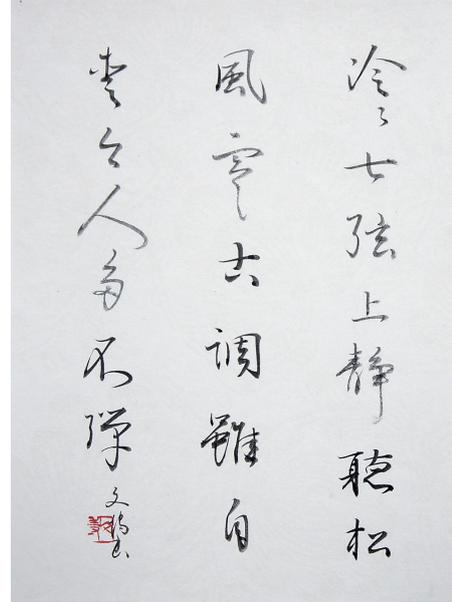
22 三寡 杉崎光波(静岡大学)



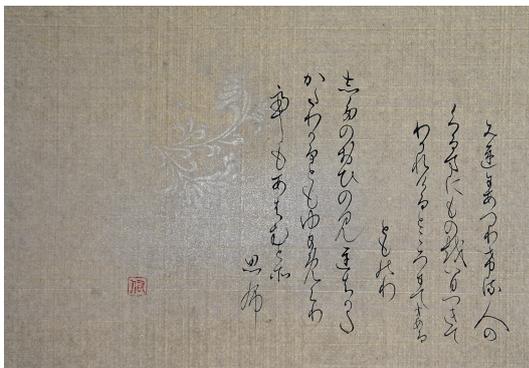
19 不能 渋谷美登里(静岡大学大学院)



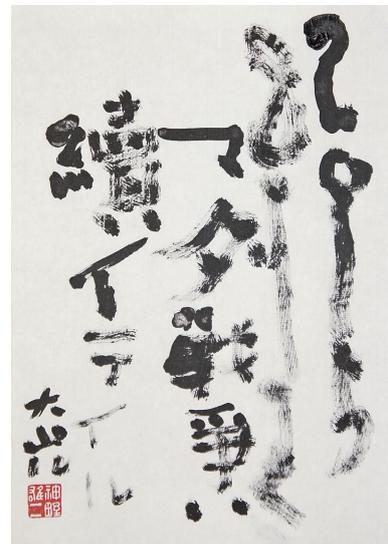
23 藤原定家歌 杉山勇人(鎌倉女子大学)



20 聴弹琴 清水文博(新潟大学)



24 離別の歌 高橋佑太(相模女子大学)



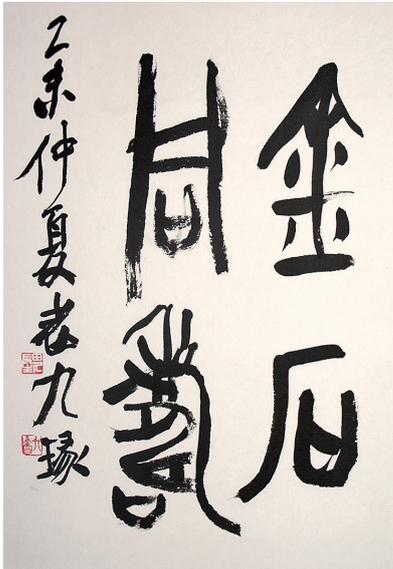
21 戦争I 神野大光(熊本大学)



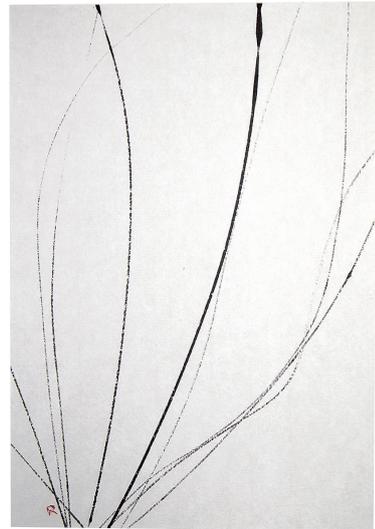
28 命 塚本虚齋(和洋女子大学)



25 鵲喜 立石充堂(徳島県立文学書道館)



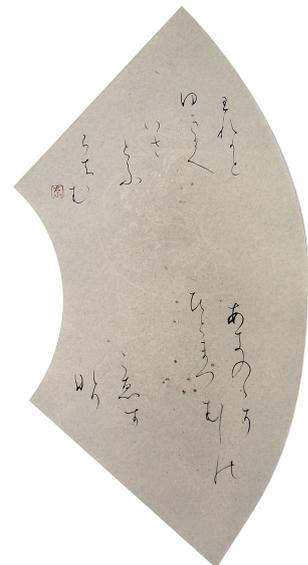
29 金石同寿 角田九盒(新潟大学)



26 線 田畑理恵(常磐大学)



30 祈 津村紫幸(千葉大学)



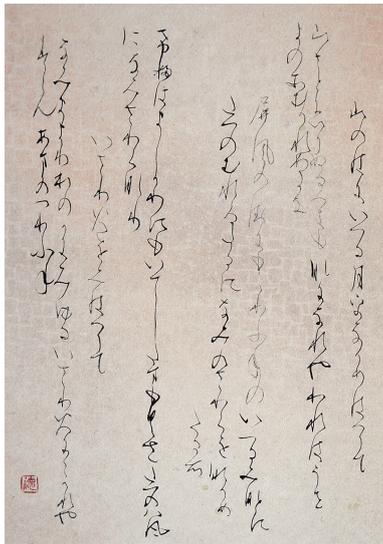
27 秋の野に 田村南海子(國學院大学)



34 左思招隱詩一節  
中村海洞(大東文化大学人文科学研究所)



31 無我  
土橋草石(比治山大学)



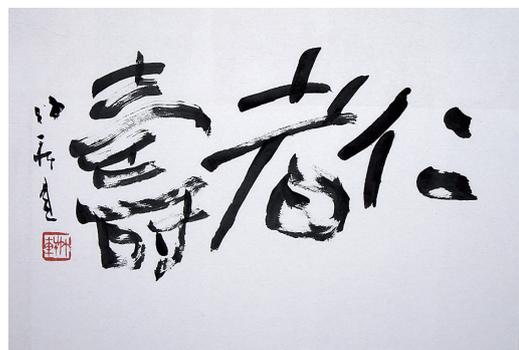
35 針切 永由徳夫(群馬大学)



32 ふるさと  
豊口和士(文教大学)



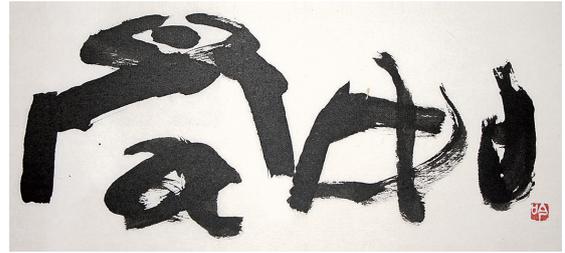
36 紅葉  
藤田朱雀(武庫川女子大学)



33 仁者寿  
長野竹軒(東京学芸大学名誉教授)



40 葵 平形精逸(常葉大学)



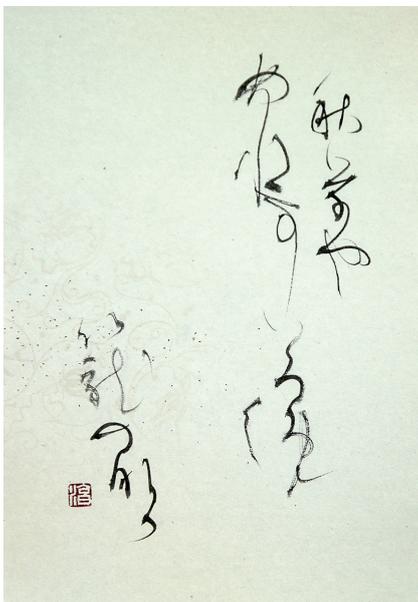
37 晏如 野中吟雪(岐阜女子大学)



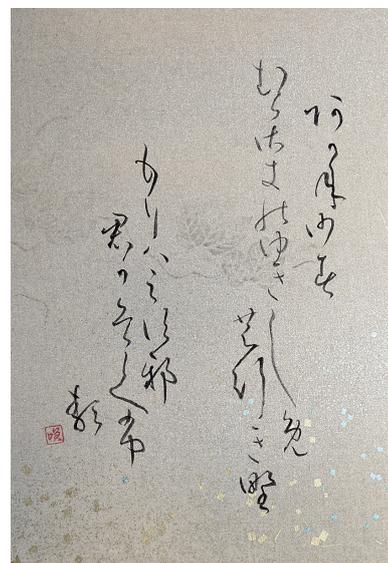
41 ミナト・ヨコハマ 廣瀬舟雲(武蔵野大学)



38 爵 服部一啓(福岡教育大学)



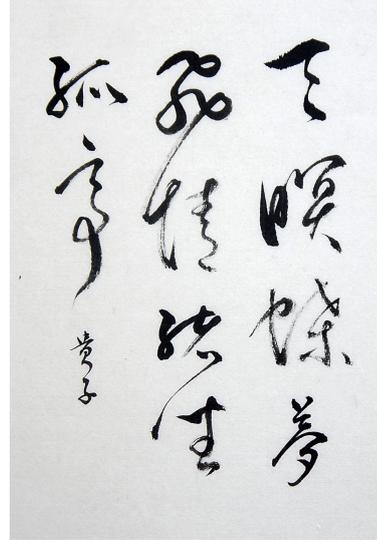
42 秋草 福井淳哉(帝京大学)



39 あかねさす 樋口竹城(千葉大学)



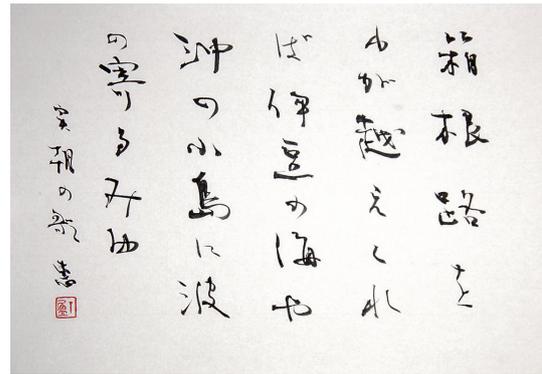
46 直 本田容子(盛岡大学)



43 天暝 瀧脇貴子(大東文化大学)



47 麗 森哲之(広島文教女子大学)



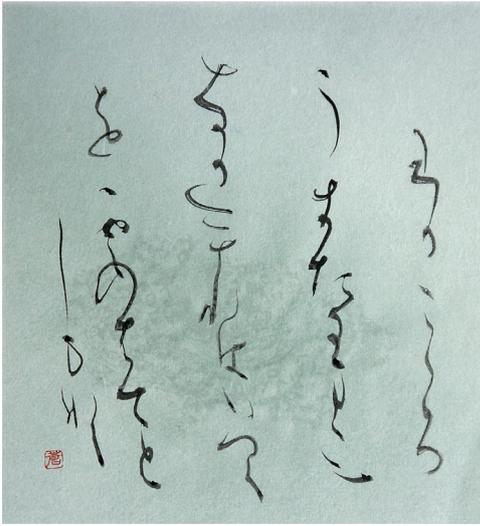
44 実朝の歌 細谷丁盧(立正大学)



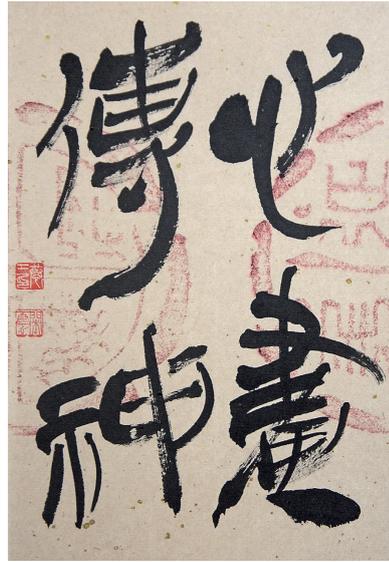
48 飲至 森上洋光(四国大学)



45 萬緑 本多和宏(千葉県立柏井高等学校)



50 雲 和田蒼龍(東京大学史料編纂所)



49 心畫傳神 横田閑雲(跡見学園女子大学)



全国大学書道学会・集合写真 (三学会合同懇親会にて)